

テーマ 29

センサー・アプリ等を活用した個人のCO2削減取り組みの促進（袋井市）

1. 解決したい課題の内容

- ・袋井市では、2006年に「袋井市地球温暖化防止実行計画」を策定して以降、温室効果ガスの削減に取り組んでいる。市役所内については、「第5期袋井市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」を策定し、市役所自ら率先して温室効果ガスの削減に取り組むべく具体的な取り組み目標を示している。
- ・今後市内の脱炭素化を進めていくにあたり、まず市役所職員が意識を高く持ち、日々の業務の中で、自然にデコ活（二酸化炭素(CO2)を減らす(DE)脱炭素(Decarbonization)と、環境に良いエコ(Eco)を含む”デコ”と活動・生活を組み合わせた造語）に取り組んでいける雰囲気や仕組みの醸成が重要になってきたが、今のところまだ最適な方法の検討等ができていない。

2. 実現したい目標について

職員個人が自身の行動がどの程度デコ活に影響を与えているかを認識し、脱炭素につながる行動を自ら選択することができるシステム構築や教育等コンテンツ提供を実施したい。

3. 必要とする技術について

以下を想定するが、これにこだわらない。

- ・行動をもとにした二酸化炭素排出量やエネルギー消費量を測定する技術
- ・情報を確認・察知できるセンサーやアプリケーション等の開発技術
- ・教育コンテンツの開発技術

4. 想定する実証実験（内容・希望時期等）について

実証内容は以下等を想定するが、これにこだわらない。

- ・上記技術を用いたセンサーやアプリケーション等を市役所職員が試験的に装着し、効果や使いやすさ等を検証する

5. 課題に関連する事業のホームページ URL

- ・第5期袋井市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）
<https://www.city.fukuroi.shizuoka.jp/soshiki/6/1/kankyozenpan/12385.html>
- ・（参考）環境省「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民活動 デコ活」
<http://ondankataisaku.env.go.jp/decokatsu/>